

## 委員会の動き



支援事業による利用者のパンづくり(ラベンダーの郷)

### 保健福祉委員会

#### ■障がい者福祉

障害者手帳交付者は1561名で障害者自立支援法に基づき支援が行われています。委員会として、就労移行支援事業、就労継続支援事業及び地域生活支援事業を中心に調査しました。

就労移行支援事業は、就労を希望し自分の適性にあつた職場への就労を目的に必要な訓練が提供されています。就労継続支援事業は、形態別にA型として雇用契約に基づき、B型は非雇用としてそれぞれ訓練を提供するもので本市はB型が殆どです。

地域生活支援事業は、障がい者相談支援事業をはじめ、社会参加促進事業等10項目の事業が行われています。

本委員会は訓練の実情把握として、富良野あさひ郷及びエクエート富良野が運営する6施設を視察し、各事業所ではパンや菓子類、豆腐、ラベンダーポプリの製造や園芸作業、陶芸等の創作活動を行っています。委員会としての感想は、職員が指導及び監督に従事し、この労働環境の重責とサービスの提供を継続するために職員の確保の重要性。また、生産活動での製品の周知と障がい者福祉施策への理解を得る広報活動も課題です。

以上のことを踏まえ委員会の意見として、①障害者手帳等申請窓口のわかりやすさ。②障害者手帳等の交付を受け、障がい福祉サービスを受けていない方々の対応として、家庭訪問等での実態把握が必要。③創作活動での製品等の展示により地域との交流促進。④支援から一般就労につながる環境の整備により障がい者の雇用の充実が重要です。

### 経済建設委員会

#### ■住宅施策について

本委員会では第1回定例会で「住宅施策について」事務調査の許可を得て、担当部局から調査に係る資料の提出と説明を求め、富良野市の住宅施策に関する調査を進めています。

委員会では、少子高齢化や地域コミュニティを含めた富良野の将来を見据えた住宅施策に資するべく議論を重ね、重点課題として、①公営住宅について②富良野市住生活基本計画について③富良野市耐震改修促進計画についての三点を重点課題に挙げ、住宅政策貢献できるよう進めています。

現状での、富良野市の人口推計は平成32年には、2万1千人にまで減少すると予測されている中で、富良野市公営住宅等長寿化計画に改定し、従来からの量的な住宅施策の見直しを図っています。

また、市住生活基本計画の策定年度でもあり、公営住宅の改



ユーフレ団地完成予想図

善と適正な供給、バリアフリーの推進、まちなか居住の推進、富良野らしい田園住宅の整備促進、ふらの型住宅普及促進など過去の計画を検証し新たな方向を示す時期でもあります。

耐震改修促進計画では、市で起こり得る地震を想定し、市の耐震改修促進事業もあわせて行い国や道の耐震化率90%を目指し耐震化を図ってきています。

一方で市内には老朽化や空き家も目立ち、火災や地震、雪害被害などへの対応など行政の基本的な姿勢を明確にしておくべきです。

今後は都市事例調査とともに、さらに調査検討を深め政策提案を目指していきます。